

【工学部 経営工学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

実力主義の伝統を堅持しつつ、高い専門性と倫理観、国際的な視野を持った経営工学分野の研究者・技術者・実務者の養成を目標とする。所定の単位を修得し、次の知識や能力を身に付けた学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

1. 経営工学に必要な基礎学力と専門知識
2. 自然・人間・社会に係る幅広い教養を修得し、経営工学分野に限らず横断的にもものごとを俯瞰する能力
3. 修得した専門知識や教養をもとに、自ら課題を発見し、解決する能力
4. 修得した専門知識や教養をもとに、論理的・批判的に思考し、積極的な姿勢で判断し、行動する能力
5. 修得した専門知識や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力
6. 修得した専門知識や教養をもとに、専門分野に応じたキャリアを形成し、自己を管理する能力

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 建学の精神と「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」という教育理念に基づいて、経営工学分野の高度な専門的知識を身に付けた創造性溢れる人材の育成を実現するための学士(工学)の教育課程を編成する。
2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般科目」、経営工学分野の基盤をなす「基礎科目」、経営工学分野の専門家としての能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 経営工学分野で活躍するためのキャリア教育や、国際性、コミュニケーション能力、課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
5. 「一般科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰する能力、判断力・行動力を養う授業科目を効果的に配置する。
6. 英語教育においては、状況に応じた柔軟なクラス編成を取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
7. 「基礎科目」では、初年次より「基幹基礎科目」、「専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置し、基礎学力を強化した上で、「専門科目」との接続を図る。
8. 「専門科目」では、講義の他に、多くの実験、実習、演習等の授業科目を重点的かつ効果的に組み合わせることで、経営工学分野の知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学ぶ。
9. 学士課程の集大成として、最終学年次に卒業研究を実施する。
10. 経営工学分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるよう、他学部・他学科の授業科目の履修や大学院科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

1. 当学科では高等学校段階までの学習内容を十分に理解し、各種工学システムに関するより高度な専門知識を身に付けようとする意欲のある人を求める。
2. 自立心旺盛で勉学意欲に溢れ、将来広く国内外において人間・情報工学あるいはシステム数理工学分野で活躍しようとする意欲のある人を求める。
3. 入学試験では特に数学、理科、外国語に対して高い興味や関心を持っていることを重視する。なお、入学試験科目に課される以外の科目も広く学習していることが望ましい。